

製品づくり・利用部門 間伐ネット会長賞  
Forest Good 2016 ～間伐・間伐材利用コンクール～

(会社名・団体名等) **特定非営利活動法人 つくしん棒**

連絡先	(住所) 〒501-4502 岐阜県郡上市八幡町島谷1105番地 (担当部署等) (電話番号等) <a href="http://tuku-c.jp/">http://tuku-c.jp/</a> Email: info@tuku-c.jp
-----	--

製品等の名称	ゆめいた <b>YUMEITA</b> ・ ・ ・ 「夢を意識する学習機の天板」
製品等名称の説明	小学校の学習機の天板を保護するための取り外し可能な天板（以下：YUMEITAとする）です。このYUMEITAは、脱着式の機能を活用し裏面にそれぞれの「夢」や1年間の「目標」などを自由に記入し、目標達成を意識づけるための仕組みを有する天板です。
取組のきっかけ	健全な森林保全を行ってゆくためには、間伐材を <b>恒久的に、しかも大切に使う仕組みが必要</b> と考えました。木育という言葉があるように、小さな頃から「木」に触れることが必要であると考え、小学校内での活用に取り組むこととなりました。
製品等の内容・特徴	小学校に入学した児童には、まず自分のYUMEITAが与えられ、自分の「夢」や「目標」を記入し自分の机づくりから始まります。進級と共に毎年目標などを記入し、それぞれが自分の机として6年間使用します。そして、卒業時に記念品（卒業証書）として渡す仕組みです。消耗品的な間伐材の利用ではなく、記念品として渡されることから、机としての役目を終えてもなお大切に保管されることが特徴です。
間伐材の利用量	一個あたり 0.0061 m <sup>3</sup> /年 全国の全入学者が利用した場合 6,789 m <sup>3</sup> /年 (1,113千人とする。)
取組による効果等	子どもが入学する数だけ必要とされるこのYUMEITAが全国に広がれば、恒久的な間伐材利用の取組みとして大きく貢献できると確信しています。小学校の機の天板のサイズはJISで規定されていることから、全国どこでも同じサイズであること、単純な構造であることから、どの地域でも生産可能であることなど、それに係る人達の新たな雇用（仕事）への効果も大きく期待できます。
製品等の写真・図表	<div style="text-align: center;"> </div> <p>※YUMEITAを進級と共に6年間使用し、卒業時に持ち帰ることで間伐材を恒久的に使用する取組みです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  設置前         </div> <div style="font-size: 2em; color: red;">➔</div> <div style="text-align: center;">  設置後         </div> </div> <p>既設の天板はそのままに、間伐材で作った『YUMEITA』を設置した状況。</p>